

わかしお

倉敷市立下津井東小学校
学校だより
令和3年9月24日第16号

担任外の先生宛グッド・ビヘイビアカード第6弾です。

※字数に限りがあるので、要約をするなど、内容は変えずに表現は一部変えています。

※業務内容に違いがあるので、文章量に多少の差がありますが、ご理解ください。

英語専科(〇〇小等との兼務) 〇〇 〇〇先生

〇いつも楽しく英語を教えてくれて、ありがとうございます。

〇褒めてくれてありがとうございます。おかげで、英語の授業がとても楽しみになりました。

私小原が4月から見つけた〇〇先生のよいところは、「いつも明るく元気いっぱい授業をする」「(兼任だが)途中下校の引率などを率先してしてくれる」「下東小の子どもや職員を温かい目で見られる」などです。

始業式で、

「人のよいところを見つけてほしい。人の悪いところを見つけるのは、とっても簡単。誰にでもできる。友達のマイナス面を見つけて、陰でコソコソ言うなんて、最低だし、健康にもよくない。人のよいところを見つけるのは、頑張らないとできない。でも、やってみると、なぜだか、自分が気持ちよくなる。私も去年一年間意識してやってみただけど、とても幸せな気持ちになりました。なんだか不思議だけど、やってみると、分かります。」

というお話をしました。

夏休みは子どもたちがいないので、グッド・ビヘイビアカードを書きませんでした。毎日グッド・ビヘイビアカードを書いていた1学期より、物事のプラス面よりマイナス面に目を向けがちになりました。「ありがたいなあ」という感謝の気持ちももてなくなりがちでした。2学期になって、子どもたちが登校してくるようになり、グッド・ビヘイビアカードを復活させました。40日間のブランクはすぐには埋められませんが、少しずつ、物事のプラス面に目を向けることができるようになりました。それにつれて、感謝の気持ちや幸福感を感じる感覚が少しずつですが戻ってきました。始業式の話を私自身が改めて実感しています。

子どもたちには、是非人のよいところを見つける習慣をもってほしいと思います。これは、人のためだけではありません。自分のためでもあるのですね。

保護者の皆様には第3号以来長らくお付き合いいただき、ありがとうございました。